

平成29年度第3回石巻市震災復興推進会議 会議録

- 1 日 時 平成30年3月19日（月）18時～20時30分
- 2 場 所 石巻市役所4階 庁議室
- 3 出席者
 - 【委員】 15名（別紙参照）
 - 【オブザーバー】 宮城復興局石巻支所、宮城県東部地方振興事務所
 - 【当局】 菅原副市長、復興担当審議監、復興政策部長、復興政策部次長、復興事業部長、復興事業部次長、半島復興事業部長、今野福祉部次長、吉本産業部次長

4 会議概要

(1) あいさつ（会長）

年度末のお忙しい中、復興の推進のためにお集まりいただき感謝する。事業が進捗していることが、そのまま石巻市の未来のためになるとは限らないという問題もあるため、皆様には未来を見据えて、活発な議論を交わしていただきたい。

(2) 議事

I 主な復興事業の進捗状況について

（資料1～3に基づき復興政策課長補佐が説明）

・質疑応答

【委員】

資料3の33ページの複合文化施設と、34ページの総合運動公園について詳しく伺いたい。

【復興政策課長補佐】

複合文化施設整備事業に関しては、来年度から工事に着手し、平成32年度中の完成を見込んでいる。総合運動公園整備事業に関しては、本年度中にほとんどの施設が完成している状況であり、来年度は連絡歩道橋や遊具広場を整備する予定である。

【会長】

複合文化施設と総合運動公園は、中心部から離れた郊外に作られたため、うまくマネジメントしていかなければ、市街地から人が流れてくるのみとなり、市街地へ人が集まらなくなる恐れがある。どのようにして中心部へ誘導していくかなどのソフト面も答えられると、委員も安心されると思うがいかがか。

【復興政策課長補佐】

複合文化施設に関しては、被災した文化センターと市民会館を統合した文化活動の拠点であるため、文化芸術活動を通じた交流人口の増加を図っていきたいと考えている。

【復興政策課長】

総合運動公園に関しては、非常時における防災の拠点としての役割のほか、様々な運動施設の集約を行ったため、石巻圏域の中心的な運動施設となるような取組みを行っていかねばならないと感じている。複合文化施設に関しても、石巻市へ人を呼び込むための核となる施設と考えており、文化芸術活動の中心的な施設になると考えているため、運動公園と合わせて一体的な活用を目指していきたい。

【委員】

実際に使う諸団体の皆様と協議を行っていただきたい。また、サイクルツーリズムを推進しているため、サイクルラック等を整備することでサイクリストの方々に優しい環境を作っていただきたい。

【復興政策課長】

関係する部署と協議していきたい。

【委員】

複合文化施設と中瀬公園について伺いたい。複合文化施設の運営に関して、早く議論の機会を設けることを要望している。運営・運用について早急に協議を行わないと、実際に運営する際、運営側と市で想定が異なることが発生すると考えている。

中瀬公園についてだが、完成形があまり見えてこない。できるだけ早く議論ができる場を設けていただきたい。

【復興政策課長】

複合文化施設については、今後は教育委員会が管理運営することになってくるため、市民や利用される方の意見をどのように反映し、使い勝手を向上させていくかを関係課と協議していきたい。

【復興事業部長】

中瀬公園に関しては、平成26年・27年に市民の皆様と基本計画について協議させていただき、平成27年にはパブリックコメントを行い、最終的には平成28年3月に基本計画が完成し、公表した。復興交付金の採択が難しいということで社会資本総合整備交付金へ手法を変更したが、計画自体の変更はないため、現在の計画で引き続き進めていきたい。

【委員】

低平地の嵩上げ完了後の用地の利用についてはどうなっているのか伺いたい。

【復興政策課長】

低平地に関しては、防災集団移転事業の残土を活用して嵩上げを行い、漁業活動の利用の場や市民が希望する場合は貸付けや売り払いを行い、地域の土地と一体的に活用を行うことを考えているが、空いた土地に企業を誘致する等の他の施策に関しては検討されていない状態である。草刈等の維持管理費用もかかってくるため、土地の有効活用については、現在課題となっている。

【委員】

今、回答があったとおり、維持管理費用がかかり、市の財政を圧迫してくるため、皆で真剣に考えていかなければならないと思い、質問させていただいた。

【委員】

雄勝地区と鮎川地区の拠点について伺いたい。雄勝地区の方々のお話を伺うと買い物が大変という話を耳にする。物産施設の中にコンビニをいれてほしいという要望があるようなので、ぜひ誘致をお願いしたい。

鮎川地区についてであるが、ホエールランドや環境省のビジターセンター等の全体像が見えてこないため、協議をする場を設けていただけないか。

【復興政策課長】

雄勝地区に関しては、日用品や食料品を買う場所が少ないということで、コンビニの出店要望があることは承知しているが、出店する側の考えもあり、難しい状況である。

【半島復興事業部長】

鮎川地区に関しては、事務レベルでは協議をさせていただいているが、全体のイメージの共有に関しては疑問が残るため、機会を設けて意見交換をさせていただきたい。

【会長】

雄勝地区や鮎川地区のオープンが9月と遅めになっているため、観光客が訪れるシーズンに合わせて仮オープンを行うことはできないか。

【半島復興事業部長】

工程上は9月のオープンが精一杯ではあるが、市長からも同様の話をいただいているため、仮オープンも視野に入れて対応していきたい。

II 平成29年度石巻市総合計画・震災復興基本計画実施計画について

(資料4に基づき復興政策課長が説明)

・質疑応答

【会長】

新しく実施する震災伝承の関連事業についてももう少し追加して説明していただけないか。

【復興政策部長】

大川小学校と門脇小学校に関しては、地域の皆様の協力をいただいて、プロポーザル選定委員会が終わり、設計業者が決定した。9月までの間に、ワークショップを行い、地域の方々の意見をいただきながら基本設計を完了させ、平成31年度中の完成を目指していきたい。

特に門脇小学校に関しては、南浜地区に整備予定の津波復興祈念公園と連携し、世界に発信できるような震災伝承を進めていきたいと考えている。

Ⅲ 「東日本大震災からの復旧・復興7年間の歩み」について

(資料5に基づき復興政策課長が説明)

・質疑応答

【委員】

説明いただいた資料の復興への支援に関してだが、これを記載したのは、支援していただいた方への感謝の念からという解釈でよろしいか。現在、復興の途上にある中で、引き続き支援をいただいているため、どのような形で民間や関連自治体へ感謝を示していく考えか。

【副市長】

行政対行政の考え方で言えば、互いに何かあった際は助け合うことが必要と理解はされている。民間の方に対しても可能な範囲で感謝を示していきたいと考えている。

【会長】

派遣していただいて当たり前という感覚になるのはよくないため、感謝の言葉等を記載したほうがよいと思われる。

【復興政策課長】

災害復旧費寄付金等で寄附を頂いている方にお礼状と合わせて復興の進捗が分かる資料をお送りすることで感謝の気持ちを示す取組みを進めていきたい。

【委員】

平成32年度の復興事業が完了する際に各地からの支援に感謝するイベントを開くべきだろうと考えており、開催するための組織を立ち上げるつもりである。そのような動きがある場合には、市からも後押しをしていただけると助かる。

(3) その他

・本年度で委員の任期が満了となることから、委員を3年間務めた所感・改善点等についてお話いただいた。

(4) あいさつ (副市長)

委員の皆様方にはお忙しい中、定期的集まって議論し、貴重な意見をいただき、感謝しております。震災発生から7年間は住まいの復興を最優先の課題と位置付け、取り組んできた結果、本年度までに復興住宅4,556戸の供給と防集団地の整備が完了しました。今後は、半島沿岸部等の地域の高齢化が課題となることから、地域の方々が支えあう仕組みとして包括ケアや新しいまちづくりを進めていきたいと考えております。

今後も市政に御協力いただきますようお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。3年間、本当にお疲れ様でした。